

みずほCustomer Desk Report 2019/03/12 号(As of 2019/03/11)

國際為替部 為替營業第二チーム

【昨日の市況概要】

[昨日の市況概要]				公示仲値	110.96
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.08	1.1231	124.75	1.2984	0.7036
SYD-NY High	111.30	1.1258	125.20	1.3170	0.7077
SYD-NY Low	110.88	1.1222	124.49	1.2945	0.7027
NY 5:00 PM	111.22	1.1246	125.08	1.3149	0.7071
NY DOW	25,650.88	200.64	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,558.06	149.92	日本10年債	-0.0400	0.00bp
S&P	2,783.30	40.23	米国2年債	2.4783	1.32bp
日経平均	21,125.09	99.53	米国5年債	2.4430	1.18bp
TOPIX	1,581.44	9.00	米国10年債	2.6402	1.08bp
シカゴ日経先物	21,165.00	230.00	独10年債	0.0660	▲0.15bp
ロンドンFT	7,130.62	26.31	英10年債	1.1790	▲0.90bp
DAX	11,543.48	85.64	豪10年債	2.0255	0.15bp
ハンゲ指数	28,503.30	274.88	USDJPY 1M Vol	5.63	0.06%
上海総合	3,026.99	57.13	USDJPY 3M Vol	6.01	▲0.09%
NY金	1,291.10	▲ 8.20	USDJPY 6M Vol	6.66	▲0.04%
WTI	56.79	0.72	USDJPY 1M 25RR	-1.06	Yen Call Over
CRB指数	180.50	▲ 0.17	EURJPY 3M Vol	6.92	▲0.05%
ドルインデックス	97.22	▲ 0.09	EURJPY 6M Vol	7.57	▲0.00%

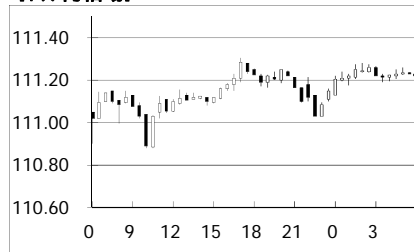
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月11日	16:00	独 鉱工業生産 (前月比/前年比)	1月 -0.8%/-3.3%	0.5%/-3.3%
	21:30	米 小売売上高・速報 (前月比)	1月 0.20%	0.00%

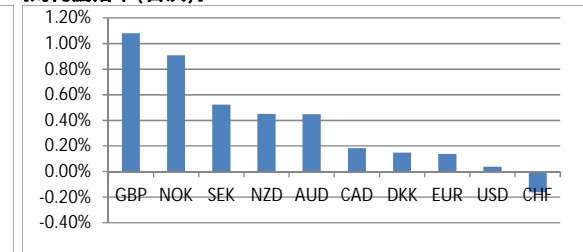
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回
3月12日	08:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-	-
	18:30	英 鉱工業生産 (前月比/前年比)	1月	0.2%/-1.3%	-0.5%/-0.9%
	18:30	英 製造業生産 (前月比/前年比)	1月	0.2%/-1.9%	-0.7%/-2.1%
	21:30	米 CPI (前月比/前年比)	2月	0.2%/1.6%	0.0%/1.6%
	21:30	米 コアCPI (前月比/前年比)	2月	0.2%/2.2%	0.2%/2.2%
	21:45	米 ブレイナードFRB理事 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80 - 111.60	1.1200-1.1310	124.70-125.90

【マーケット・インプレッション】

前日から行われていたEU離脱案の見直し協議において、本日の東京早朝に「英首相・欧州委員長、英国のEU離脱案見直しを巡って合意」との報道がなされている。これらの報道を受けて、ドル円は昨日高値(111.30)を小幅ながらに上抜けている状況。また、米小売売上高も市場予想を上回る結果となっており、昨日は欧米の株式市場も総じて堅調な推移となっている。センチメントの改善が見てとれるなかで、ドル円については小確りとした推移になるのではと考えている。

東京 東京時間のドル円は111.08レベルでスタート。高く寄り付いた日経平均株価がマフィス圏に下落する動きに、ドル円は一時110.88まで下落した。その後は先週大きく下落して懸念されていた上海株や日経平均株価が上昇に転じる中、ドル円も111.11円台に値を戻し、111.16レベルで海外時間に渡った。

ロンドン市場のドル円は111.16レベルでオープン。手掛かり材料に欠ける中、111.10から111.30の狭いレンジで推移。111.17レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2986レベルでオープン。翌12日に控える離職修正案採決を、重要な採決から「暫定的な」採決に変更する公算との報道で一時1.2963まで下落。その後、報道が否定されると、最終交渉への期待感から反発。1.3062まで買われ、1.3019レベルでNYに渡った。(ロンドン・タイムズ 0531 444 179 北原)

ドル円は111.17ℓでNYオープン、朝方発表された米1月小売売上高は、政府閉鎖や月末に一部地区での寒波があったものの予想を下回したことから、111.21まで戻す。その後は前分が下方修正されたこと etc 等から、利益確定の売りが増え、111.03まで下押したことが、株式市場が堅調に推移する中、円売りが優勢となり、111.28まで戻す。午後は方向感の無い開散な推移が続く、111.22ℓでクローズした。一方、先週のECB理事会後に強まったユーロ買いが一巡し、買戻しが強まっているユーロℓは、海外市場で1.1268まで戻し、1.1244ℓでNYオープン、朝方は米小売売上高結果を受けクドル買いに1.1232まで下押しするが、ドル売りが優勢となり、1.1254まで戻す。その後は翌日の英フレンジット修正案採決を控え、ユーロポンドが下落する動きに連動し、ユーロℓは1.1222まで反落する。午後は、米首相がユンケル欧州委員と離脱交渉で会談とのヘッドラインを受けポンドが上昇する動きに、ユーロℓは1.1246まで戻し、1.1246ℓでクローズした。(NY終)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容が事実と異なる場合もありません。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断と責任のもとご判断し申し上げます。また、当資料の著作権はすべて銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：上野・森谷